第１号様式　別紙１　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境計画書）

氏名 （法人にあっては名称）	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発　ホテルグランヴィア広島（旧　株式会社ホテルグランヴィア広島）
住所	広島市南区松原町1番5号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日
基準年度(*1)	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度 （平均）

１　事業者の要件（⑴、⑵については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量）

該当する事業者の要件	☑ ⑴原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上（特定事業者） ☐ ⑵エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上（特定事業者） ☐ ⑶特定事業者以外の事業者

２　事業の概要

事業者の業種	旅館、ホテル （主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号： 7511 ）
事業の概要	ホテル（客室407室）、宴会（宴会場12室）、レストラン・バー（直営7店舗）、テナント（11店舗）

３　温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制

推進体制は総務部長を統括とし、総務部施設課長を推進者としている。

４　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和4～令和6年度 （平均値）	令和7～令和9年度 （平均値）	((a-b)/a)×100 (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス実排出量(*5)	5,214　$t\text{-}CO_2$	4,953　$t\text{-}CO_2$	5.0　%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		4,953　$t\text{-}CO_2$	5.0　%
目標設定の考え方	令和７年度首蒸気減圧弁取替を行い、ガス消費量の減が見込まれるため5%減を目標としている。		

*1　基準年度とは、温室効果ｶﾞｽの抑制度合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去３か年度の平均値とすることができる。

*2　特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3　原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4　温室効果ｶﾞｽ排出量とは、二酸化炭素（ｴﾈﾙｷﾞｰ起源のもの及び非ｴﾈﾙｷﾞｰ起源のもの）、ﾒﾀﾝ、一酸化二窒素、ﾊｲﾄﾞﾛﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ、ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ及び六ふっ化硫黄）の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5　温室効果ｶﾞｽ実排出量とは、上記(*4)のうちｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ｶﾞｽ排出量が特定事業者単位で3,000ﾄﾝ以上のものの排出量の合算をいう。

*6　温室効果ｶﾞｽみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ｶﾞｽみなし排出量は、温室効果ｶﾞｽ実排出量と等しくなる。

⑵　事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標　（※任意記載）

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和4～令和6年度 （平均値）	令和7～令和9年度 （平均値）	((a-b)/a)×100
7511　旅館、ホテル	2.841	2.55	10.2　%
			%
			%
原単位の指標及び目標設定の考え方	原単位＝二酸化炭素排出量（t-C02）/（宿泊人数+婚礼宴会人数+一般宴会人数+料飲利用客数）×延床面積×0.0000001		

⑶　温室効果ｶﾞｽ実排出量の抑制に関する措置の内容

照明器具、空調機、冷蔵庫を個効率機器に随時更新して、温室ガスの排出抑制を図る。また、共用部等空調機器の効率的運転管理を行っている。
・照明器具をＬＥＤ化する。
・宴会場・客室の空調機を高効率機器に更新する。
・高圧変圧器を高効率機器に更新する。

⑷　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容（環境価値(*8)の活用等）

なし

⑸　温室効果ガスの排出の抑制等に関する基本方針

継続的な環境負荷の低減に努めて、地球環境にやさしいホテルを目指している。

５　その他の取組

・照明や厨房機器の消し忘れについて社員に周知を行うと共に、夜間警備員にて全館巡回を行い監視している。
・5月～10月までクールビズを推進している。
・夏場、外部打ち水・共用部１℃設定温度を上げる日を設定している。
・一部屋上緑化を実施し、ヒートアイランド対策を行っている。

原単位とは、温室効果ｶﾞｽ排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。

*8　環境価値とは、ｵﾌｾｯﾄｸﾚｼﾞｯﾄ制度等により、温室効果ｶﾞｽの排出削減等を行うﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを通じて生成される温室効果ｶﾞｽの削減量等をいう。なお、温室効果ｶﾞｽみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

第１号様式　別紙３　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境計画書）

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

（※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要）

事業所の名称	ホテルグランヴィア広島
事業所の所在地	広島市南区松原町1番5号
事業所の業種	旅館、ホテル
事業の概要	ホテル宿泊(407室）、宴会（宴会場12室）、レストラン・バー（直営7店舗）、テナント(11店舗)

１　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和4～令和6年度 （平均値）	令和7～令和9年度 （平均値）	((a-b)/a)×100 (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス 実排出量	5,214　$t\text{-}CO_2$	4,953　$t\text{-}CO_2$	5.0　%
温室効果ガス みなし排出量		4,953　$t\text{-}CO_2$	5.0　%
目標設定の考え方	令和7年度首蒸気減圧弁取替を行い、ガス消費量の減が見込まれるため5%減を目標としている。		

⑵　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

照明器具、空調機、冷蔵庫を個効率機器に随時更新して、温室ガスの排出抑制を図る。また、共用部等空調機器の効率的運転管理を行っている。

・照明器具をＬＥＤ化する。
・宴会場・客室の空調機を高効率機器に更新する。
・高圧変圧器を高効率機器に更新する。

⑶　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容（環境価値の活用等）

なし

２　その他の取組

・照明や厨房機器の消し忘れについて社員に周知確認の励行を行うと共に、夜間警備員にて全巻巡回を行い監視している。
・5月～10月までクールビズを推進している。
・夏場、外部打ち水・共用部１℃設定温度を上げる日を設定している。
・一部屋上R特価を実施し、ヒートアイランド対策を行っている。